

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年6月24日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	残留熱除去系ポンプ(A)運転時、振動監視装置の警報発生(当該ポンプX軸方向の振動値が大きいことによるもの)が認められたため、当該ポンプの運転状態確認及び振動測定を実施し異常なしを確認したことから、当該軸振動計を点検。	G	
2	3号機	設備パトロールにおいて、換気空調系タービン建屋吸気ファン(C)グラビティダンパのリンク機構のボルト(1本)に緩みが認められたため、当該ダンパを点検補修。	G	
3	3号機	復水浄化系復水ろ過装置出口導電率/入口導電率記録計において、記録の欠測(記録用紙交換時の記録紙ホルダーセット不良による)が認められたため、当該記録紙ホルダーを正規位置へセットし記録を確認。	G	